

Team Plus ∞

— プラス思考の環境活動 —
緑で笑顔を

環境責任者

環境への取り組みが事業との相乗効果を測りながら、お客様、お取引業者様、協力会社様、そして地域の皆様に対して貢献できるように努める事が私共の使命です。

ISO活動を通じて更なる環境の保全、育成を推進し次の世代へ継承していきます。



環境統括責任者:大塚 保(代表取締役社長)

経営環境は厳しさを増し、弊社も生き残っていくためには、他社との差別化を図っていかなければなりません。生物が地球上において種の存続をかけて生き残るのと同じように・・・。

《Team Plus ∞ -プラス思考の環境活動- 緑で笑顔を》

緑の素晴らしさを広め伝えることが我々の生きる道であると考えます。



環境管理責任者:宮地 克徳(取締役)

環境方針

基本理念

造園土木植清園は、緑の素晴らしさによって
世界中に笑顔の花をたくさん咲かせます！

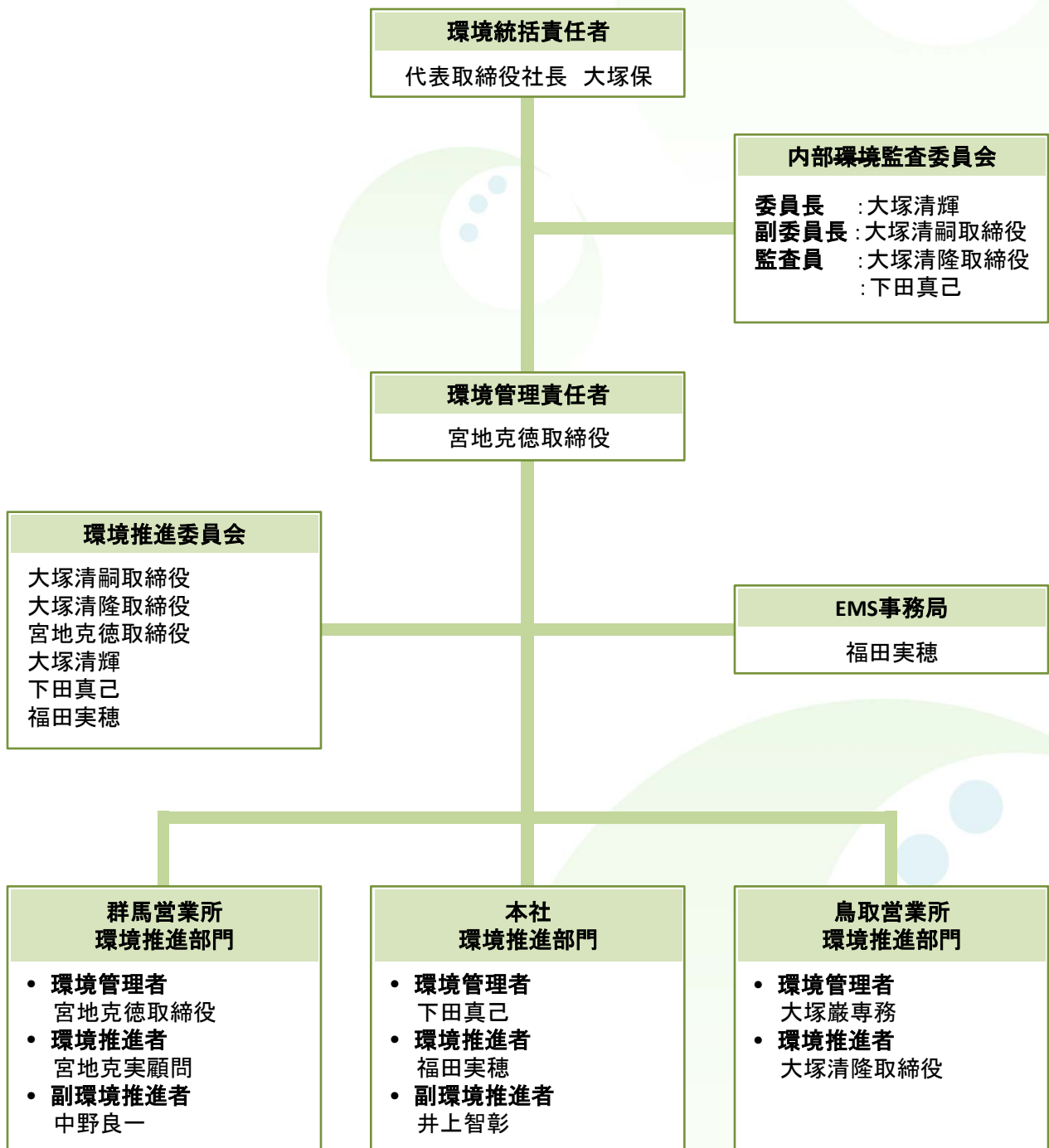
より良い環境への行動指針

私たち人類は、かつて自然と一体であったという記憶を失いかけていましたが、先の震災により自然との共存を強く意識することとなりました。

造園土木植清園は、緑に関わる企画・設計・施工・管理という事業活動、そして緑の素晴らしさを発信することを通じて、環境への貢献、影響を改善させるために、定量的な目標を設定し、定期的に見直しを図りながら継続的に改善します。

1. 緑化及び緑地の維持管理を推進し、緑の素晴らしさを多くの方に伝えることによりCO2削減に貢献します。
2. 省エネルギー・省資源及び3R(リデュース、リユース、リサイクル)を推進します。
3. 事業活動推進にあたり、環境関連法規及び当社が同意するその他の要求事項を遵守し、地球環境保護並びに汚染の予防に努めます。
4. この環境方針は全従業員に周知徹底します。
5. この環境方針は社内外に公表します。

環境管理体制



植清園の環境活動とは・・・

有限会社 造園土木 植清園は、緑を扱う性質上“環境企業”そのものであると自負してまいりました。しかし2004年3月31日にISO14001を認証取得し、活動していくうちにあることに気付かされました。環境企業であるはずなのに、悪影響も及ぼしていることに。

つまり緑を増やしたり維持管理するにあたって、多くの機械や重機を使用します。植木の剪定をすればするほど剪定クズが増えます。化学肥料や薬品も使用します。資料を作ったり図面を作るに紙や電気も使います。頑張っって営業すればするほど、車の走行も増えます。

紙・ゴミ・電気・・・ISO14001の中では3種の神器と言われていました。まずはこれを削減していけばいい、そのように考えられていましたので我々はその他に、燃料の削減、剪定クズの削減などを目的・目標に掲げ活動してきました。しかし規模の小さい我が社では、紙を減らしても電気を減らしても環境にいいことをしたという実感が湧きません。逆に仕事を頑張ろうとすればするほど数値は悪化し、究極の施策は仕事を頑張らないこと・・・そのような矛盾を感じていました。

しかし議論を重ねた末の発想の転換によりようやく進むべき道が見えたのです。それがこの「Team Plus ∞ -プラス思考の環境活動-」です。マイナスの環境影響だけではなく、プラスの環境影響に重点を置いた環境活動です。我が社は緑を扱う会社です。その緑を増やすこと、そしてしっかりと維持管理し、よりよい生育を促すこと、それによってCO2の吸収を高めようという考えです。もちろんマイナスの影響をなおざりにするわけではありません。こういった理念のもとでお客様には最大の利益をもたらし、そして社会貢献につながるような仕事の進め方を追求していきます。

さらに今年度より「緑で笑顔を」という理念をプラスしました。

よもすれば機械的に緑を増やせばいいという発想になりかねない活動を、「緑」による笑顔をより多く生みだそうという意識に変えようというものです。弊社の環境活動、いや事業活動は何か？と問われたときに、「緑を増やす」ではなく「笑顔を増やす」と言えるようにしたいと考えます。

環境活動歩み

2003年5月	ISO14001取得に向けKICK OFF
2004年3月	ISO14001認証取得
2006年7月	「アイソス7月号」EMS審査を共に考える に掲載
2006年10月	株式会社日本環境認証機構(JACO)ISO友の会 日本経団連会館にて 「Team Plus ∞ プラス思考の環境活動」を発表
2006年12月 ～2007年3月	なにわ空中棚田プロジェクト」第1段実証実験の工事に携わる 産経新聞掲載、朝日放送「ムーブ」にて紹介される
2007年3月	第1回更新審査合格
2008年3月～6月	第25回全国都市緑化ぐんまフェアに出展
2008年11月	群馬テレビ「NEWSジャスト6」にて芝生管理の特集出演
2008年12月	ホームページ立ち上げ
2009年10月	「優れた技能者」知事表彰 専務兼鳥取営業所長 大塚 巖
2009年10月	鳥取県技能祭「鳥取の名工展」出展
2009年11月	上毛新聞スポーツ版1面カラー「支える感動の演出者たち 三洋電機ラグビー場の芝生管理」特集記事で掲載
2010年3月	第2回更新審査合格
2010年5月	(社)日本造園組合連合会「優れた緑の技能士」顕彰 取締役 大塚 清隆
2010年8月	ABC朝日放送「大改造！！劇的ビフォーアフター」の案件で、 屋上緑化と樹脂舗装を施工
2010年9月	環境報告書完成
2010年10月	三洋電機株式会社加西事業所Green Energy Parkの緑化工事施工
2011年4月	群馬営業所中野主任、即応予備自衛官として福島県南相馬市へ災害派遣
2011年10月	大阪府都市緑化フェアに出展、日比谷ガーデニングショーに出展(3年連続)
2011年12月	Facebookページ立ち上げ
2012年4月	「緑で笑顔を」プロジェクト発足

会社概要

会社商号	有限会社造園土木植清園
創業	明治初期
設立	昭和44年1月16日
資本金	700万円
営業拠点	大阪守口本社、鳥取営業所、群馬営業所
建設業許可	国土交通大臣許可 第6329号
ISO14001	2004年3月31日認証取得
役員	代表取締役社長 大塚 保 取締役専務 鳥取営業所所長 大塚 巖 取締役顧問 宮地 克実 取締役(本社部門) 大塚 清嗣 取締役(鳥取営業所) 大塚 清隆 取締役群馬営業所所長 宮地 克徳 従業員数 48名
資格者	技術士(建設部門) 1名 造園基幹技能者 3名 造園技能士 1級8名、2級6名 造園施工管理技士 1級5名、2級8名 土木施工管理技士 1級2名、2級2名 建築士 2級1名 芝草管理技術者 1名 その他法定資格多数保有
取引銀行	りそな銀行守口支店 鳥取銀行 群馬銀行大泉支店
主なお取引先	パナソニック株式会社グループ三洋電機株式会社、京セラ株式会社、日本精工株式会社、ヤマハ発動機株式会社、三井倉庫ロジスティクス株式会社、能美防災株式会社、日本ビルサービス株式会社、株式会社マサキ・エンヴェック、FDKトワイセル株式会社、FDK鳥取株式会社、島根三洋電機株式会社、千代三洋工業株式会社、NSKロジスティクス株式会社、三洋電機連合健康保険組合、三洋クリエイティブサービス株式会社、株式会社ジャパンディスプレイウエスト、ジョーンズ・ラング・ラサール・ファシリティーズ株式会社、特殊車輛整備工業株式会社、株式会社日立ハイテクインスツルメンツ、株式会社グランドクリエイト、日東カストディアル・サービス株式会社、株式会社シムックス、観水庭こぜにや、大阪歯科大学、立教大学、ゼネコン、官公庁、学校、幼稚園、保育園、個人など

事業所案内

大阪本社

所在地 〒570-0095
大阪府守口市八島町12-3
TEL 06-6991-2813
FAX 06-6992-9527



鳥取営業所

所在地 〒680-0941
鳥取県鳥取市湖山町北2-543
TEL 0857-28-1046
FAX 0857-28-5629



群馬営業所

所在地 〒370-0517
群馬県邑楽郡大泉町西小泉2-6-8
TEL 0276-62-2925
FAX 0276-62-7624

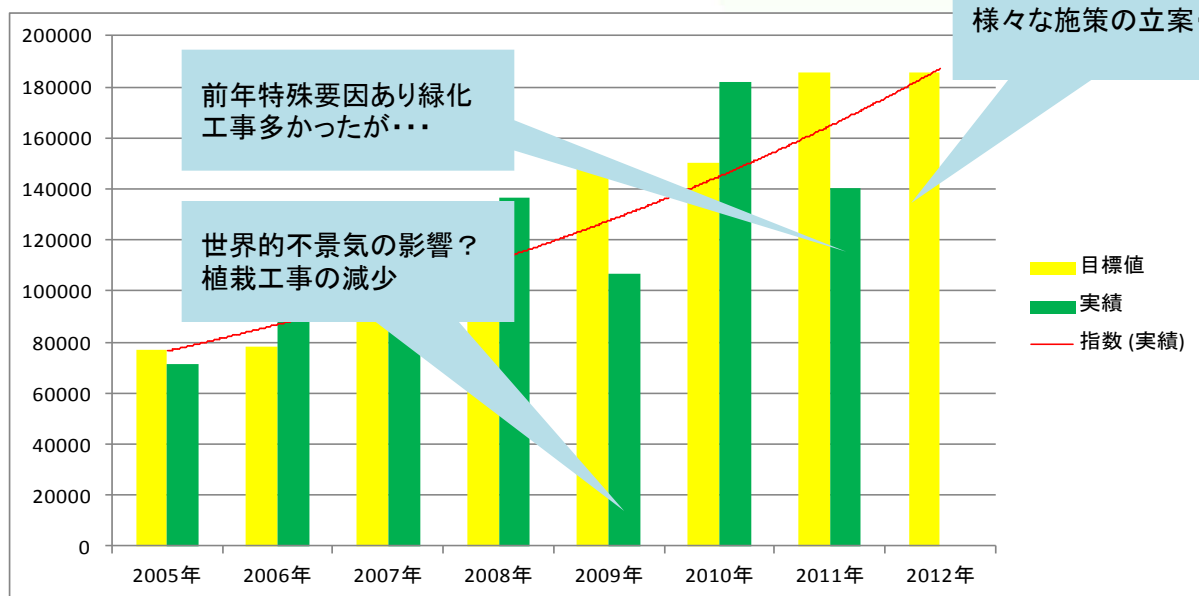


環境管理計画書全社

環境目標(2012年度迄)	施策・日程	上段: 当年度環境目標	方針	配慮事項						実行責任者
		下段: 中長期環境目的		法等	側面	技術	財政	事業	利害	
★緑化によるCO2吸収量の増加 2010年度比 2%UP (2010年度吸収量: 181,783CO2-kg →185,419CO2-kg以上)	当年度	<ul style="list-style-type: none"> 既存顧客における拡大 公共工事受注 芝生グラウンド受注 	○	○	○	○	○	○	○	宮地克徳
	中長期	<ul style="list-style-type: none"> 宣伝広報活動強化 新規顧客の獲得、既存顧客の強化 公共工事・大規模工事 								
★緑地維持管理の拡大 2011年度比 2%UP (2011年度管理ポイント: 41,362pts →42,189pts以上)	当年度	<ul style="list-style-type: none"> 工事後の維持管理受注 既存顧客受注拡大 公共工事受注 	○	○	○	○	○	○	○	
	中長期	<ul style="list-style-type: none"> 宣伝広報活動強化 新規顧客の獲得、既存顧客の強化 公共工事・大規模工事 								
★低燃費型車両、機器への切替	当年・中長期	<ul style="list-style-type: none"> 低燃費車両、器具への切替 機械のメンテナンス管理 工程見直しによる工程ロス及び移動ロスの削減 	○	○	○	○	△	-	-	
★機械・車輛の使用による事故発生ゼロ	当年・中長期	<ul style="list-style-type: none"> 発注先との安全確保折衝 作業現場ごとに適した機器選定 	○	○	○	○	○	○	○	
★電力使用量削減によるCO2削減 2011年度電力排出量実績維持 →24,955CO2-kg	当年・中長期	<ul style="list-style-type: none"> 省エネ機器への切替 プリンター、照明、加湿空気清浄機等の電源管理 エアコンの設定温度、フィルター清掃管理 	○	○	○	○	△	-	-	
★廃棄物廃棄量削減によるCO2削減 2010年度産業廃棄物廃棄量実績維持 →42,120CO2-kg	当年・中長期	<ul style="list-style-type: none"> リサイクル率のアップ 	○	○	-	○	○	-	-	

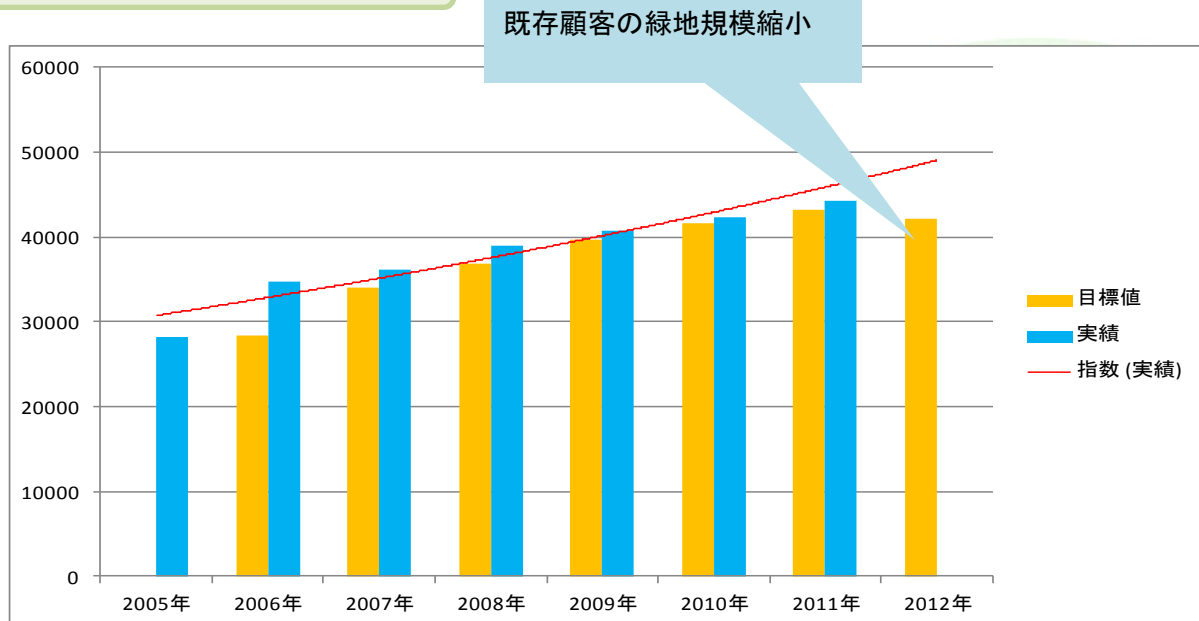
環境管理計画・実績の推移

緑化(緑地の設計及び施工)によるCO2吸収量



単位co2-kg = 葉面積1㎡ × 3.5
 環境省編集協力「大気浄化植樹マニュアル」参照

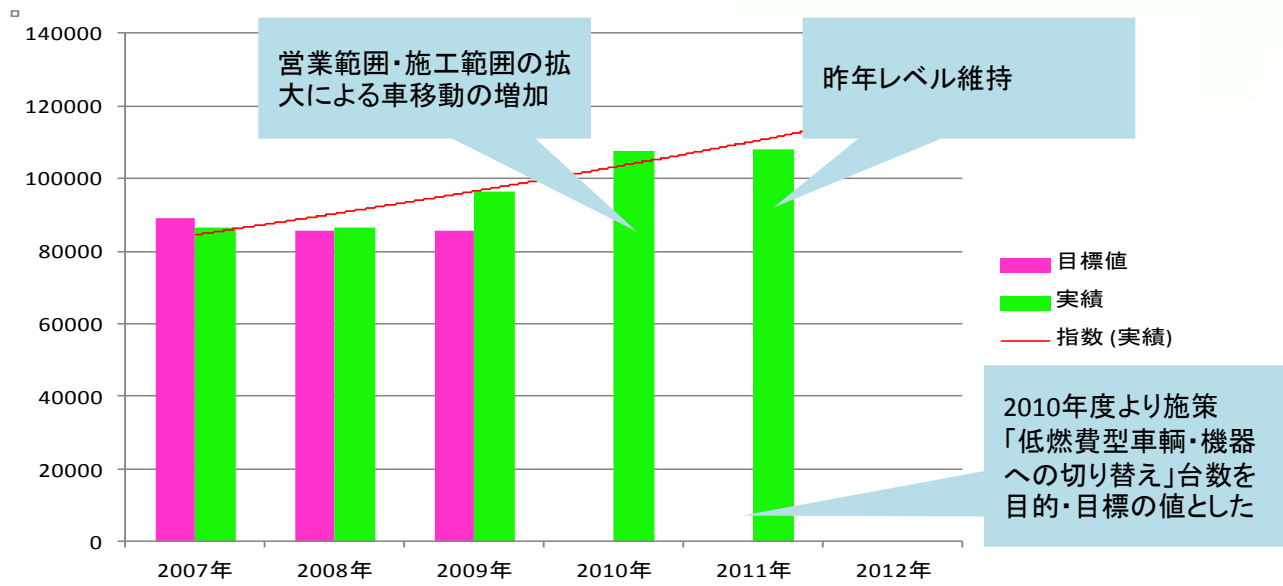
緑地維持管理によるポイント



単位ポイント = 樹木co2吸収量 × 管理回数

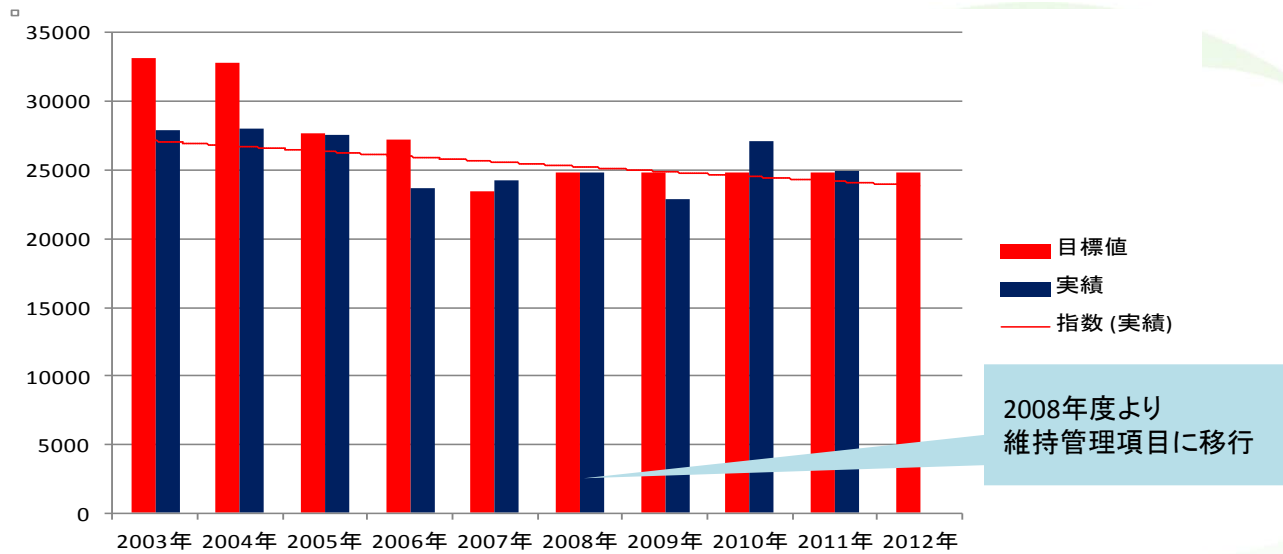
環境管理計画・実績の推移

燃料によるCO2排出量



単位co2-kg = ガソリン1L × 2.32
 軽油1L × 2.62 灯油1L × 2.49

電力によるCO2排出量



単位co2-kg = 1kWh × 0.38

2012年度 法順守項目

法規制	項目
消防法	<ul style="list-style-type: none"> • 少量危険物貯蔵取扱場の届出(本社) • 燃料の管理(保管量・使用量・最大数量) • 燃料取扱責任者の選任(危険物取扱者)
廃棄物処理法	<ul style="list-style-type: none"> • 廃棄物処理委託業者の許可証内容確認(有効期限等) • マニフェスト管理(回収期日) • マニフェスト交付等状況報告書の届出
毒物及び劇物取締法	<ul style="list-style-type: none"> • 「医薬用外毒劇物」表示・区別 • 薬品保管庫管理責任者の選任
農薬取締法	<ul style="list-style-type: none"> • 薬品の管理(保管量・使用量・散布場所・希釈度)
建設業法	<ul style="list-style-type: none"> • 一般建設業許可申請 • 主任技術者及び監理技術者の設置(工事毎)
自動車NO _x ・PM法	<ul style="list-style-type: none"> • 大阪府流入車規制対象車のステッカー表示確認(本社) • 対象地域への乗り入れ車輛の確認

緑のことならなんでもご相談ください

企画・設計・施工・メンテナンスまで、小規模な樹木剪定、除草から工場緑地管理、競技場芝生管理、屋上緑化まで大小問わずお気軽にご相談ください。





残したい 儂い美しさを…



大地と大空をつなぐ